

たかい 高井たまき 新聞



★学生服 人気取り合戦が止まらない★

80年代、歌、ドラマ、映画で「セーラー服～」と付くものがあふれていた。時代は同じくして制服がない大学生が着る「紺ブレ」も時代を旋風した。現在の潮流は、ブレザーがセーラー服を凌駕し、高校、さらに中学までもが制服にブレザーを採用する学校が次々と出てきた。市内でも横須賀高校が男子校で、大津高校が女子校だった頃の詰襟学生服とセーラー服は遠い歴史のページになりつつあり、詰襟学生服の学校は市内でも残り数校である。そのためか取り外し可能なカラーを製造する業者は、**とうとう国内で1社になってしまった。**

90年代、海外ドラマや映画に登場するブレザー制服はティーンネイジャーの羨望となり、日本の制服も洗練さを追求し、制服人気が学校選択の条件にもなっていると学校側は認識している節がある。

制服は量産できないが、毎年の安定的な供給を企画し、縫製業社は生地、ワッペン、ボタンまでも先を見越して調達する。コロナでも他国の紛争下でも業者はこの困難な時期に駆使して資材を確保してきた。しかし、制服人気の風を先読みし、**何年もしないうちに変わる制服。これがどんなにか無駄な経済を生んでいるか、**変更を後押しする側は考えたことがあるだろうか。学校の統廃合で不要になる旧制服についても然りである。私が教えていた中学校は、1年のうち制服を着る機会は学校行事や節目の式典の数回である。その制服を無駄に改変させていくことで、制服を作る側を苦しめてはいまいか、はたまた成し得なければならないことなのか、本当に議論は尽くされているのか。何年も先の在庫の確保の後、拙速な変更の決定で旧制服の資材はどうなるのか、業者の悲痛な叫びとなっている。卒業式後、学校はリサイクル制服を推進しており、保護者もどんなにか助けられたことであろう。またそれも1から始めなければならない。

学区がなくなり学校間競争は自然発生するが、学校評価は制服とは必ずしも関連しない。制服という学校のアイデンティティをもう一度ふり返り、学校自体で制服人気取りの競争からは距離をおくべきである。

タウンニュース横須賀版
2023年2月17日号掲載



<https://takaitamaki.com/>

046・827・8029
高井たまきを応援する会

意見広告①
統一教会、横須賀でも追及継続
昨年、国葬が閣議決定になった事件と統一教会のだけで行われ当日もY関係が明るみになり、横デッキで反対の意を示し、須賀も無関係ではありませんでした。追及を止めることは犯罪の防止には繋がりません。

社民党高井たまき



高井たまきホームページ
<http://takaitamaki.com/>
活動報告随時更新



ご意見
ご要望
応援など
お気軽に

高井たまきを応援する会

会員募集中
会費無料

TEL / FAX
0468-27-8029
横須賀市本町1-9
三協ビル3F

社会民主党の機関紙『社会新報』は、国会の動きや党の主張・運動を分かりやすく解説するとともに、各地域の活動や、多くの市民運動の動きについても紹介しております。

また、読者のニーズに応えるために幅広いテーマの記事を掲載しております。

『社会新報』を読めば社会民主党のすべてと党を取り巻きさまざまな動きがひと目で分かります！

社会民主党 全国連合 機関紙宣伝局

電話代表: 03(3553)3787

●定価185円●1ヶ月720円●送料168円



社会民主党は、 2023年統一自治体選挙 (横須賀市議会)の 候補予定者として

たかい
高井たまきさんの
公認を決定しました。

社会民主党神奈川県連合公認、2023年統一自治体選挙予定候補者
(横須賀市議会) 高井たまきさんのメッセージです。

「癒着のない市政を取り戻す」

昨年9月、閣議決定だけで執り行われた国葬の発端となった事件は、全国に衝撃を与えた。更にその事件の背景は、30年前に報道されていたカルト団体が深く関わり、日に日に明るみにされ、宗教と現政権の密接な関わりが地方政治にまでも及んでいたことが毎日の様に報道されている。こんな異常事態が許されて良いものだろうか。政治と宗教は切り離されなければならないことを一方で叫び、もう一方では宗教法人の法人格を隠れ蓑して、カネとヒトが時の政権を後押ししていた事実が地方政治にまではびこっていた。日本の長きに渡る政権がこの様な形で維持されてきたことが判明された今、多様な者で構成される社会に公正な土壌は形成されないのは明らかだ。広く社会に正しいことを追求するために、社会民主党は自信を持って戦っている。私は日本の政党政治を信じて、党员として日々活動をしている。誰が変えるの？は、市民だが、間違っていることを間違いだと声を上げていくのは、議会の場を通じて議員の仕事であると考えている。この統一地方選挙は、市民のための戦いだと決心し、挑戦します。社会民主党、高井たまきとともに声を上げてください。

高井たまき プロフィール

- ・ 明治大学政治経済学部政治学科 卒業
- ・ 横浜国立大学大学院教育学研究科 修了
- ・ 東京医科歯科大学 難治性疾患研究所
分子細胞生物学研究 研究支援
- ・ 神奈川県下の中学・高校10年以上勤務
社会科教諭
- ・ 国会議員秘書
- ・ 横須賀市上町 在住

市民と野党の共闘で、岸 のちと暮らしを守ろう ～2023統一自治体～



2023年1月30日
社会民主党神奈川県連合
「2023統一自治体選挙
総決起集会」

福島みずほ県連合代表